

2月18日 No.1429

-----2019年(平成31年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税

(定価) 1部本体 495円+税

週刊

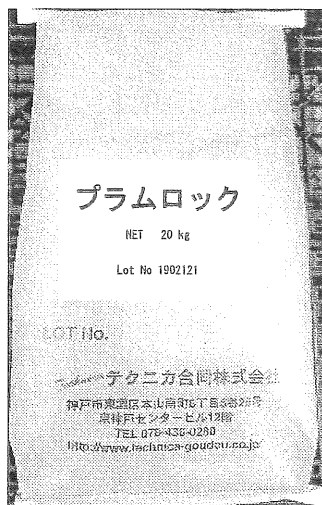
# 循環経済新聞

## The Recycling Economy Times

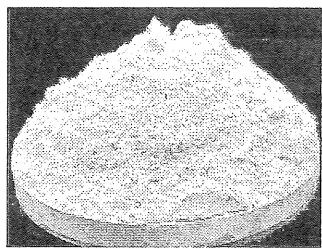
テクニカ合同

### 一剤型の中性固化剤を開発 完全中性で即時高強度発現可能

「プラムロック」を今春発売



早期の埋め戻しを可能に



「土と水」に特化する化学薬品メーカーのテクニカ合同(神戸市、寺尾好太社長、☎078・4336・0280)は、一剤型の中性固化剤「プラムロック」シリーズ(特許取得済み)を開発し、今春より発売することを明らかにした。従来の固化

対象土砂1立方メートルあたり10〜50kgを添加後、バックホウでの攪拌もしくはミキサー系混合機などで混合攪拌することで固化作用を発揮する。無機系材料3種に有機材を原料としており、無機系2種によってプラス電荷(カチオン)が放出さ

れることで、有機材からめとった土粒子をそのままに水がしぼられ、脱水された水については多孔性物質に吸わせることで水浮きを防いで、高強度な性状へと改質する。

建設発生土を運搬する際や、埋め戻し・道路用盛土として使用する場合は一定の強度が

必要となる。コーン指数試験では、1平方メートルあたり40kgの対象土が、同固化剤による改質直後に第4種改良土(同200kg/m<sup>3</sup>以上)の強度を示し、7日後には第2種改良土(同800kg/m<sup>3</sup>以上)に近い数値を計測。田園土といった試験土壌の場合、改質直後に同8

70kg/m<sup>3</sup>まで強度を高めることに成功した。プラムロックシリーズは、L・M・Hの3種のラインアップをそろえ、川砂が主なシルト・粘性土であれば、低添加量・コスト安で改質できるプラムロックLを。セメントでは大量に使用し養生日数が必要になる、もしくは

は石灰を大量に扱う高含水物に対してはプラムロックHを提案する。同社担当者の藤田洋克氏は、「現場に合わせた薬剤を提案するためにまずは要試験で、関心を持っていただいた事業者の方の現場へ全国どこにでも試験に伺う」と話した。